

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人しらさぎ福祉会

平成28年度

## 事業報告書

社会福祉法人しらさぎ福祉会

### 〈基本理念〉

「家族と暮らしているようなアットホームな施設」

- 基本方針
- 1 介護の質の向上（尊厳と安全を守る。在宅介護の推進）
  - 2 利用者の満足度の向上（ゆったりとした自由な生活の支援）
  - 3 地域との連携（地域福祉の拠点）
  - 4 働きがいのある施設（人材の育成、経営基盤の確立）

本年度は、特養機能訓練室の取り壊し及び新スタッフルームや機能訓練室、居宅介護支援事業所事務室の改修工事と平成29年4月から始まる社会福祉法人制度改革に伴う定款変更などの手続きや体制の見直しが主な取り組みとしてありました。そのような中で、平成28年度の課題となっていた諸規程の見直しを順次進めてきた1年でした。

以下のとおり、その経過並びに結果報告を致します。

### 1 法人経営の原則の遵守

社会福祉法人制度改革に伴う法人の在り方に関する研修会には参加機会が豊富にあり、役職に応じた外部研修への参加機会を設けながら、内部での統制を図るため、職員を対象とした内部研修会の充実を図りました。

また、28年度には9月21日に兵庫県老人福祉事業協会によるサービス評価事業を利用した、職員対象のアンケート調査や結果に基づく自己評価、評価チームによる講評や意見交換などを経て、現状の課題を把握し今後の取り組みを明確化させました。その結果、法人の基本理念と基本方針の共通理解、そして全職員で共有化を図ることができました。それにより団結力と向上心の高まりが成果として得られました。

その後、翌年2月7日に監査指導が行われるも、職員の処遇改善やキャリアパス制度による人材育成、施設整備計画の実施など堅実な資産運用が図られていることを示すことができ、行政からは高い評価を得ることができました。

一方、経営基盤の強化では、各事業が平成27年度の報酬改定により被った収益減を営業努力により通常ペースに戻すことができました。

### 2 理事会・評議員会の開催

#### ① 理事会の開催

・第1回 平成28年5月23日

第1号議案 特別養護老人ホーム機能訓練室の財産処分について

- 第2号議案 平成27年度各事業所事業報告について
- 第3号議案 平成27年度決算報告について
- その他 監事監査報告
- ・第2回 平成28年9月28日
  - 第1号議案 施設・整備等積立金の追加取り崩しについて
- ・第3回 平成28年12月15日
  - 第1号議案 平成29年度社会福祉法人制度改革に伴う定款変更について
  - 第2号議案 平成28年度しらさぎの里拠点区分第1次補正予算について
  - 第3号議案 マイナンバー導入に基づく就業規則の改正について
  - 第4号議案 制度改革に伴う経理規程の改正について
  - 第5号議案 育児休業等に関する規則並びに介護休業等に関する規則の改正について
  - 第6号議案 アットホーム林田しらさぎ地域密着型デイサービス事業について
  - その他 上半期決算報告、監事監査報告など
- ・第4回 平成29年2月9日
  - 第1号議案 評議員選任・解任委員会運営細則について
  - 第2号議案 評議員選任・解任委員会の委員選任について
  - 第3号議案 評議員選任候補者の推薦について
  - その他 制度改革に伴う定款変更の進捗状況  
平成28年度姫路市指導監査の講評について
- ・第5回 平成29年3月27日
  - 第1号議案 経理規程の一部改正（案）について
  - 第2号議案 平成28年度しらさぎの里拠点区分第2次補正予算について
  - 第3号議案 平成29年度事業計画及び予算について
  - 第4号議案 平成29年度定期昇給（案）について
  - 第5号議案 就業規則の一部改正（案）について
  - 第6号議案 役員等報酬規程制定について
  - その他 姫路市指導監査報告について など

## ② 評議員会の開催

- ・第1回 平成28年5月23日  
内容は第1回理事会に同じ
- ・第2回 平成28年12月15日  
内容は第3回理事会に同じ
- ・第3回 平成29年3月27日
  - 第1号議案 理事の補充選任（案）について

以下、第5回理事会の第1号議案～第6号議案に同じ

③ 監事会の開催

平成28年5月9日、11月8日

### 3 事業運営

- ① 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホームの経営  
地域密着型特別養護老人ホームの経営
- ② 第二種社会福祉事業 老人短期入所事業の経営  
老人デイサービス事業の経営  
地域支援総合事業の設置経営（アットホーム林田しらさぎ）
- ③ 公益事業 居宅介護支援事業の経営  
生きがいデイサービス事業の経営  
地域包括支援センター事業の設置経営

### 4 本年度の重点施策

- ① 平成27年度介護報酬改定に伴うケアシステム等の基盤強化
  - i 施設入居者の要介護度は平均4.1で重度化に向かっています。  
医療ニーズの高まりに対し嘱託医や主治医、かかりつけ医療機関と連携を強化。  
喀痰吸引など実技訓練により職員の技術向上やスキルアップを図りました。  
認知症ニーズに対し認知症介護実践者研修による人材育成を行いました。
  - ii 地域密着型特養において、平成28年3月より栄養マネジメント体制を算定。以来、平成28年度中は加算条件の追加は無かったが、新年度に向けて条件整備を目的とした人材確保を積極的に徹底して行ってきました。
- ② キャリアパスによる人事管理の適正化  
職員の定着化と人材育成を視野に、国家試験受験者のための勉強会や実技訓練等を実施し、平成28年度は介護福祉士2名、介護支援専門員1名の合格者がありました。昇級表に基づいた資格取得による次期昇級候補者として位置付けている。
- ③ 地域支援事業等介護の多様化に対応  
地域包括ケアの体制を構築するため、本体施設では施設整備を進め、軽度者等の介護予防に役立つサービスの提供を目指し、アットホーム林田しらさぎでのデイサービス事業の実現化を目指し、シュミレーションを実施。重要課題としては、専門職を含む人材確保が必要であるとみています。
- ④ 規程集の整備・充実  
法整備に合わせ、順次規程集の見直しを実施。平成28年度は、就業規則、経理規程、育児休業等に関する規則並びに介護休業等に関する規則、役員報酬規程などの見直しを行いました。

⑤ 経費の節減について

従来の経費を毎月の経営会議の中でチェックをし、問題と課題を明確にしたうえで無駄を無くして効率化を図り、光熱水費や食材料費などの節減につなげました。

⑥ 職員の質向上について

- i 基本理念と基本方針など基本に戻って学習し、社会福祉に携わる者として相応しい接遇やマナーを浸透させ、職員のプロ意識の向上に重点を置いた研修計画を実行しました。
- ii 安全・安心・安楽な施設を目指し、高齢者虐待防止に向けた研修計画を重点化し、尊厳を守り安全・安心・安楽な施設を目指した教育を実施しました。また、第1回ストレスチェック制度を実施に移し、職員のメンタルケアとセルフケアの定着化を図りました。

## 5 施設整備について

① 介護保険法等の改定に伴う施設整備

老朽化と狭隘の寮母室等を解体整備に併せ、旧在宅介護支援センターを整備し、1階を特養機能訓練室及び居宅介護支援事業所、2階を特養スタッフルーム及び静養室、職員休憩室にする第1期工事がほぼ年度内に完成しました。それに伴い、消防法上の通信不良や放送設備の不具合なども改善する見通しとなっています。

② 経営改善事業について

平成29年度より軽度者の訪問・通所系サービスが地域支援事業に移行するため、既存施設の整備と新たな事業展開を模索してきました。しかし、業界だけにとどまらない人材不足の問題と採算性を考えれば地域支援事業では成り立たないことが明らかであり、改めて要介護者を対象とした事業展開やその他の活用を含め検討が必要となっています。なお、県税事務所には時期尚早として平成29年度の姫路市の施設整備の動きなども参考に判断していくことの報告を済ませています。

以上

平成28年度

## 事業報告書

特別養護老人ホームしらさぎの里

本年度の年間稼働率は、96.9%で前年度と比較し0.4%の増加となり前年と同水準でした。要因として個々に応じたケア及び医療機関との連携を図りましたが、入居者の身体的重度化による入院者の増加、療養型医療施設への急な転院があげられます。

### 1 根拠に基づいた介護の実践について

#### 1) 根拠に基づいた介護の実践について

特養会議やフロアー会議、施設内研修会において、人が生きていくために必要な機能と適正な水分摂取・歩行に対するケア・普通の食事をそれぞれが摂取できた場合に、高齢者の身体にどのような良い影響を及ぼすのかを学び、部門間で連携を図りながら理論に基づいたケア・尊厳を守るケアの提供に努めました。また、適正な水分ケアを勧め、可能な限り自然な排便に繋がる様に医師との連携にも努めました。

#### 2) 職員の専門性の向上について

特養会議での実践発表や介護技術講習会での講師の経験、施設内研修会を行い職員の資料作成能力・説明能力（プレゼンテーション）の向上に努めました。

#### 3) 専門的な知識習得の場を設け、労働意欲の向上及び資格取得の促進を図りました。

介護福祉士取得者：2名 介護支援専門員取得者：1名

特養・地域密着型特養共同の施設内研修

月	研修内容	担当職員
4月 24日 5月 1日	行動基準・倫理について	介護職員
5月 26.29日	高齢者虐待防止について	介護職員
6月 3.6日	吸引・胃瘦介助（介護・看護・医師の連携）	看護係長
6月 17.28日	食中毒の基礎知識と予防について	栄養室係長
7月 8.12日	水・歩行と排泄について	介護職員
7月 26.28日	認知症ケアについて	介護職員
8月 9.15日	褥瘡の知識と対応について	看護職員
9月 5.13日	応急手当について	看護係長
11月 21.25日	感染症予防・対策について	看護主任
12月 5.8日	ターミナルケアについて	介護職員
1月 24.31日	介護事故の予防・緊急時の対応について	介護職員
2月 2.3日	高齢者虐待（事例検討会）	介護係長
2月 9.10日	吸引・胃瘦介助（実技）について	看護係長

新人研修（講義）日程：3月6日～21日

研修内容	担当職員
しらさぎの里の理念・行動基準	施設長
防災について（避難経路・火災警報装置の説明等）	事務長
諸規定の説明	事務長
パソコンの使用方法、接遇マナー、放送の仕方	事務長
特養の基本方針	部長
高齢者への接し方・高齢者虐待	部長
報告・連絡・相談	部長
緊急時の対応（心肺蘇生法 + AED）	課長
技術標準（食事・排泄・入浴）	部長・課長
移乗介助	課長
高齢者の栄養・体調管理・栄養ケア計画・食中毒	栄養室係長
食事・排泄・入浴・移乗介助の実践	本館副主任
根拠に基づいた介護（水、歩行と排泄、認知症）	本館・新館主任
電話応対（受けるとき・かけるとき）時の注意点	部長
施設ケアプランの考え方	部長
胃瘻・喀痰吸引の基礎知識、応急手当	看護係長
高齢者の体調・感染症	看護係長

新人研修（実地研修）日程：3月22日～31日

研修内容	担当職員
業務・入居者対応の実地研修	本館副主任

実習受入状況

受入期間	学校名	実習内容
自 平成 28 年 6 月 6 日 至 平成 28 年 6 月 10 日	姫路市立林田中学校 2 名	トライやる・ワーク
自 平成 28 年 6 月 13 日～6 月 24 日 至 平成 28 年 9 月 5 日～9 月 27 日	兵庫県立龍野北高等学校 2 名	介護実習Ⅱ-1. 2
自 平成 28 年 6 月 11 日 至 平成 28 年 7 月 3 日（内 3 日間）	神戸学院大学	ソーシャルワーク入門実習
自 平成 28 年 9 月 12 日 至 平成 28 年 9 月 16 日	兵庫県立大学 3 名	給食の運営
自 平成 28 年 8 月 15 日 至 平成 28 年 9 月 16 日	神戸医療福祉大学	介護実習Ⅲ
自 平成 28 年 11 月 7 日 至 平成 28 年 11 月 18 日	兵庫県立龍野北高等学校 2 名	介護実習Ⅰ-4

## 2 入居者の尊厳を守る基本的介護の実施について

各フロアー会議、各委員会会議を行い、褥瘡ゼロ、胃瘻ゼロ、骨折ゼロ、おむつゼロに向けた取り組みの継続に努めました。各フロアーにおいて整理整頓、清掃に努め、清潔感のある空間づくりを行い、安心して快適な生活づくりの検討・改善に努めました。

### 1) 高齢者虐待・身体拘束の防止に向けた取り組みの実施

入居者に安心して自分らしく生活を送って頂くために、主任会議をはじめ各フロアー会議において、高齢者虐待と身体拘束に関する話し合いや事例検討会を行い、認知症や虐待の理解及び不適切なケアについても話し合い、職員への気づきを促し改善していけるように努めました。

## 3 サービスの質の向上について

1) 科学的介護（水分摂取、歩行と排泄、常食化）を取り入れたアセスメントと見直しを継続して行い、一日に必要な水分摂取量を目標値に設定し、意識障害・認知力の改善が見られた方が5名、福祉用具を用いて歩行が可能になられた方が2名、下剤に頼らず自然な排便が見られた方が4名となりました。

心身状況の把握に努め、変化があった事に対しご家族へお伝えし、ご家族の意向の確認とケア内容の提案を行い、ご家族とも一体となった施設サービス計画書の作成に努めました。また、ご家族へのサービス担当者会議出席を積極的に依頼し、施設でのケア内容の理解と協力を得られる様に努めました。

サービス担当者会議開催件数

項目 \ 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
サービス担当者会議の件数	131 件	128 件	133 件
ご家族参加の総件数	79 件	67 件	65 件

2) 担当介護職員より、毎月の近況報告（写真付き手紙）を ご家族宛に送付し状態の共有を図りました。また、状態変化時にはご家族へ電話連絡を随時行い、施設の体制を再度説明したうえで、対応・ケア方針の検討に努めました。

### ① 介護の取組み

各フロアーに、入居者の身体状況を細かくアセスメントし把握する事により移動の方法・排泄の方法・入浴の方法をフロアー会議において検討し、自立支援に努めました。また、他部門と連携を図り、根拠に基づく介護（水分摂取→歩行と排泄→食事の常食化）を検討し、安全に可能な限り自立した生活を送って頂けるよう努めました。

#### i 食事：

椅子やテーブルの高さ、自助具を調整し、食事を摂るための座位を確認し、入居者ご本人に食べて頂けるよう環境整備に努めました。また、水分摂取を勧める事により脱水から起こる認知レベルの低下を予防し、改善に繋がる方もありまし



た。

ii 排泄：

入居者一人ひとりに合わせた排泄方法を排泄委員会（尿測、排尿チャート）・フロアー会議で検討し、実施しました。

月日\種別	パット交換者	トイレ誘導者
平成 28 年 4 月	10 名	40 名
平成 29 年 3 月	13 名	36 名

iii 入浴：

入居者の身体状況（ADL 変化時）に応じた入浴方法を、入浴委員会・フロアー会議で検討し、各入居者に合った方法で入浴を実施しました。

月日\種別	普通浴	特殊浴	個浴
平成 28 年 4 月	11 名	10 名	39 名
平成 29 年 3 月	14 名	14 名	32 名

② 看護室の取組み

- i 入居者の日々の健康管理に努め、発熱時には温度板を活用し、その統計と初期の体調変化を見極め 嘱託医・協力医療機関と連携し、早期対応に努めました。医師の往診時には、入居者の状態を的確に報告し 医師の診療補助に努めました。

嘱託医：毎週 20～30 名程度の診察

心療内科医師：対象者 24 名

嘱託医回診以外の協力医療機関等への受診状況

平成 26 年度受診件数	平成 27 年度受診件数	平成 28 年度受診件数
312 回	285 回	325 回

協力医療機関等への入院状況

項目 \ 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
入院者数	24 名	25 名	21 名

- ii 入居者・職員ともに年 1 回（夜勤者は年 2 回）の健康診断を実施（介護職は腰痛検査も実施）し、嘱託医による健康相談を行いました。
- iii ターミナルケアの実施：ターミナルケア開始決定については、ご家族に医師の説明・施設での看取り介護についての説明を聴いて頂き、細かく意向を確認し、その人らしく最期の時を迎えて頂けるような支援に努めました。また、その内容の記録を作成し、職員間での情報の共有を図りました。

平成 28 年度ターミナルケア実施者：7 名（内 6 名が永眠）

項目 \ 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
ターミナルケア実施者数	7 名	10 名	7 名

③ 栄養室の取組み

i 給食実施状況

- ・食事形態について

食事形態について平成26年・27年・28年の3年間の比較をグラフにしました。

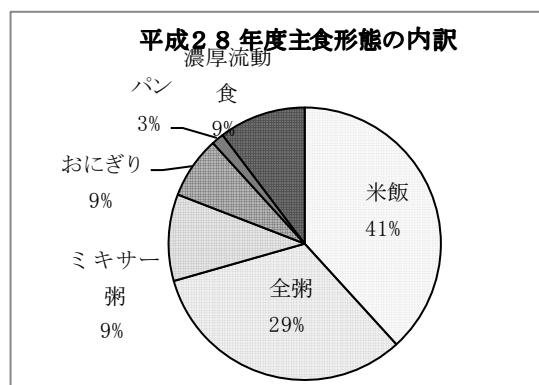
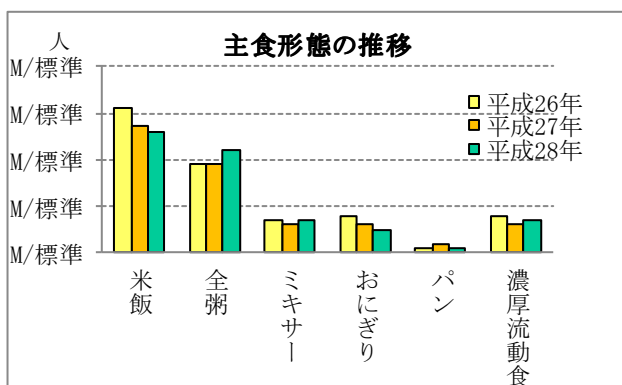
食事形態3年間比較グラフ

<主食> 平成29年3月31日現在

	米飯	全粥	粥ミキサー	おにぎり	パン	濃厚流動食
平成26年	31	19	7	8	1	8
平成27年	27	19	6	6	2	6
平成28年	26	22	7	5	1	7

(名)

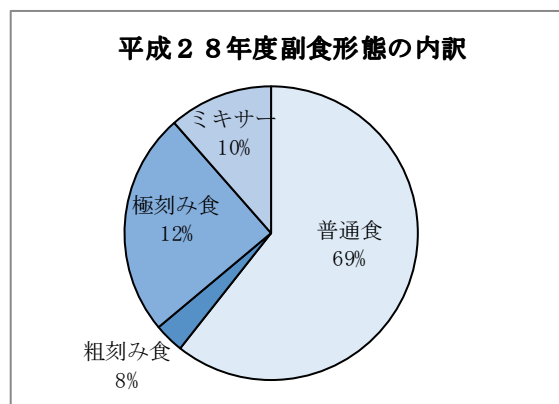
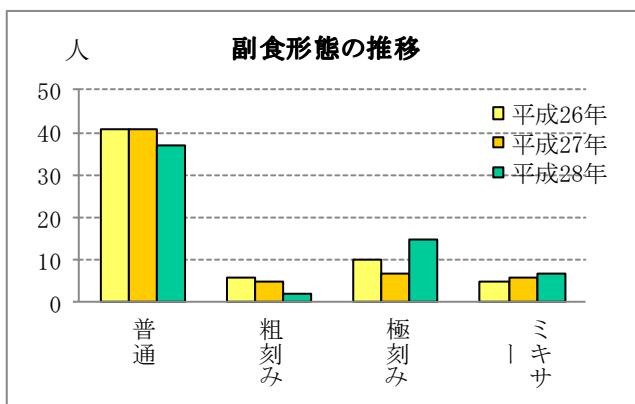
※濃厚流動食内訳：胃ろう6名、鼻腔0名、経口摂取1名



<副食>平成29年3月31日現在

	普通	粗刻み	極刻み	ミキサー
平成26年	41	6	10	5
平成27年	41	5	7	6
平成28年	37	2	15	7

(名)



※平成29年3月31日現在入院者数2名を除く。

ii 特養の栄養摂取状況

	エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンc	食塩相当量
	kcal	g	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g
施設基準量	1500	60.0	36.0	234.0	630	7.0	830	1.00	1.20	100	9.0
H28年度平均	1517	61.1	35.2	232.9	570	7.6	712	0.79	1.02	103	8.0

iii 栄養ケア計画について

特別養護老人ホームしらさぎの里では栄養ケアマネジメント体制を整えています。特養の入所者一人ひとりの個性や食事に対する希望にできるだけ対応し、体重管理および疾病予防、食事療法そして生活の一部としての栄養に関するケア計画を、嘱託医を含め各部署と連携して実施しています。またサービス担当者会議に栄養士も参加し、栄養ケア計画を施設サービス計画書と連動させ、より細かなケアとサービスを提供できるよう多職種で検討しています。

iv 経管栄養について

経管栄養（胃ろう・鼻腔）にて毎日の栄養を摂取される入居者の割合は全体の8%であり年々減少傾向にあります。各個人の状態に応じた濃厚流動食の選択や適正カロリーの摂取、また逆流や嘔吐の予防などに努めています。嘱託医、看護師と密に連携を取り、濃厚流動食の種類を充実させ、個人個人に最も適した濃厚流動食で対応できるようにしています。これにより入居者の体調を良好に保ち栄養状態が改善され、また注入時の負担が軽減できるなど良好な結果を得ています。

v 療養食について

特養入所者、ショートステイ利用者には様々な疾病を抱えておられる方も少なくありません。特に食事療法が重要となる病気をお持ちの方に対して嘱託医を始め看護師や介護職員と連携を取って疾病に対する療養食を提供しており、ショートステイ利用者に関しても療養食加算を算定できる体制を整えています。「生活の場であるしらさぎの里」であることから、ご本人の意思を尊重し満足度も考慮しつつ疾病に対応した療養食を提供できるよう努めています。

<平成 29 年 3 月 31 日現在の療養食の種類と提供人数>

	糖尿食	心臓病食	腎臓病食	貧血食	
特養	6	6	0	2	(名)
ショートステイ	1	0	0	0	

3) 四季や生きがいを感じて頂けるように、下記 施設行事やフロアー行事に参加して頂きました。

特養合同施設行事・余暇活動実施状況

月	施設行事内容
4月	・花見(しらさぎの里)・龍野公園ドライブ
5月	・外出喫茶
6月	・足湯(ゆたりん)
7月	・ビアガーデン・しらさぎの里夏祭り・かき氷・七夕
8月	・向日葵ドライブ・かき氷
9月	・敬老会
10月	・運動会
11月	・外食ドライブ
12月	・餅つき・クリスマス会
1月	・初詣・書初め
2月	・節分・恵方巻き
3月	・焼き芋・フルーチェ作り

5 地域との連携の強化について

しらさぎふれあいサロンを偶数月に、特養・デイ・居宅で共同開催し、勉強会や施設見学、ボランティアや地域住民と入居者の交流を通して、高齢者施設の理解・安心感へ繋げることに努めました。地域サポート型特養として、平成 28 年度は 8 名の契約者の見守り事業を行いました。また 介護技術講習会を 2 回、認知症予防教室を 1 回開催し、介護技術の習得、高齢者の理解を広め、深める事に努めました。

ふれあいサロン実施状況

開催日	4月	6月	8月	10月	12月	2月
参加者数	30名	23名	中止	中止	中止	中止

L S A 契約者状況

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
13 名	12 名	9 名

## 介護技術講習会実施状況

7月22日	状態に応じた移乗介助の方法	参加：10名
9月20日	認知症の予防と認知症の方への接し方	参加：30名
12月16日	高齢者の摂食嚥下の状態に応じた食事介助の方法	参加：15名

### 6 施設運営の安定と経費の適切な管理

#### 1) 健康サポート（状態把握・対応）について

入居者の小さな様子の変化を捉え、嘱託医・各部署間での連携を密にとり状況に応じた対応（受診・食事形態変更・観察）と入院されている方の常態把握を細かく行い、入院期間を把握することにより特養空床の有効活用に努めました。

また、入居者の状態変化に応じて、介護度区分の適正な見直しと申請を行いました。

#### 2) 経費削減について

主任会議にて光熱水費の推移を共有し、常に改善点を抽出し経費削減に努めました。

### 7 危機管理について

#### 1) 介護事故及び感染症防止に関わる安全性の確立について

① 主任会議において事故検討委員会を行い、各フロアー会議にては危険予測と小さな打撲・すり傷に至るまでの対策を検討し継続して実施した結果、事故の減少に繋がりました。また、入居者自身が、皮膚を掻かれることで傷や内出血に至る事や、家族による外出・外泊をされる前・後のボディチェックを行い身体状況を確認した結果、変化があればご家族に随時伝えました。

#### 介護事故件数対比表

平成26年度	皮下出血 75件	表皮剥離 40件	転倒 34件
平成27年度	皮下出血 75件	転倒 56件	表皮剥離 34件
平成28年度	皮下出血 55件	表皮剥離 44件	転倒 35件

平成27年度 総事故件数 193件      平成28年度 総事故件数 194件

② 毎月、感染症対策委員会を開き時季に応じた感染症の同行を確認し、事前の予防対策を図りましたが、3月末に感染者が出てしまい入居者8名、利用者2名、職員6名が感染しました。

年度\診断名	インフルエンザA型	インフルエンザB型	ノロウイルス
平成27年度	0名	0名	0名
平成28年度	10名	0名	0名

1) 苦情に関して

入居者・家族への細かなコミュニケーションや連絡・近況報告（写真付き手紙）を適切に行い施設での状況をタイムリーにお伝えし、ご家族の意向も踏まえた対応・ケアの実施に繋げることにより、平成 28 年度の苦情は 2 件でした。

また、2 ヶ月に 1 度、苦情解決委員会を開催し、苦情解決第三者委員に参加頂き、地域の介護相談についても即対応しました。

平成 27 年度苦情件数 0 件 平成 28 年度苦情件数 2 件

2) 危機管理について

下記日程において、消防避難訓練を実施し、非常食の食数の見直しも行き 5 日分を常備しています。

特養・地域密着型特養共同の防災避難訓練実施状況

実施日	訓練内容	対象者
6 月 4 日	消火、通報および避難等を連帯して行う。 消防機関への通報訓練（ホットライン）ホーム内への通報連絡訓練等	全職員
10 月 8 日	消火、通報および避難等を連帯して行う。 消防機関への通報訓練（ホットライン）ホーム内への通報連絡訓練等	全職員、地域住民

下記日程において、応急手当普及員の資格を取得した職員が、入居者の緊急時にも迅速に対応できるように、研修を実施した。

救急法訓練 実施状況

実施日	訓練内容	対象者	担当職員
6 月 9 . 10. 14. 15. 21. 25. 26. 28. 29 日 11 月 19. 20. 23. 25. 27. 30 日 12 月 7. 12 日	救急法実践訓練を実施する。	全職員	応急手当普及員 渡部課長

以上

平成28年度

## 事業報告書

しらさぎの里ショートステイ事業所

本年度年間稼働率は、111.0%で前年度に比べ4.7%となっています。特養の空床は前年度と概ね同様ではありましたが、利用者の体調不良や入院によりキャンセルが多く稼働率の低下につながったと考えます。

### 1 ケアプランに沿ったサービス提供について

新規利用時はもとより、退院時や状態変化時にもケアマネージャーからの情報提供を元に事前訪問を実施することにより、状況に応じたケアの提供とケアプランの作成に努め、利用時毎に自宅での様子を伺い、各引継ぎ時に状態変化を職員に伝達し状態の変化に即応できるように努めました。また、“すこやかメモ”に利用中の様子を記載し、退所時にご家族にお伝えし状態の共有に努めました。

### 2 在宅生活継続に向けてのケアの構築

在宅生活を念頭に、移動時など自宅での生活状況と同じ内容を想定し、状況に応じて車椅子と歩行器の併用を行いました。また、食器洗い・洗濯物たたみ・台拭き・掃き掃除など日常的な役割を持つことによる心身機能の維持・向上と介護負担の軽減・在宅生活の継続に繋がるように努めました。

### 3 利用者、家族との信頼関係の確立について

- 1) サービスの利用初めや契約から時間が経過している方に関しても、ご利用に関して必要な事項があれば、再度丁寧に説明したうえで納得してご利用頂けるよう努めました。
- 2) ショートステイの物品チェックの流れを作成し、ショートステイの入所・退所時には物品チェックを行い忘れ物が無いように努め、忘れ物自体も減少しています。
- 3) 利用中の細かな状態の変化であっても ご家族に連絡し意向を確認しながら対応を行いました。体調不良時には、ご家族に早目の連絡と状況の説明を行い 受診を依頼しております。
- 4) 生きがいづくり、楽しみづくりについて
  - ① 個室を利用していただき過ごしやすい環境を提供するとともに状況に応じて居室内で行って頂けるようにしております。
  - ② ショートステイの利用が多めになっている方や利用初めで少し不安感を持たれている方には、デイサービスで知り合いの方と面会やご家族からお手紙を書いていたいただき、不安感の軽減や関係性を保てるように支援を行いました。

④ また、施設内での生活援助、レクリエーションだけでなく「ショートステイに行っていて楽しかった。」と思われる様に、利用者の趣味・特技を活かし、特養クラブ活動（生け花・療育音楽等）や年間行事に、ご利用時に合わせて希望を伺い実施に結びました。

5) 食事について

利用者個々の嗜好に基づき食事を提供し、食欲の減退に繋がらないように対応しました。また、療養食が必要な方に対し、サービス担当者会議により療養食の要否を検討し、嘱託医・各部門との連携に基づき提供を行いました。また、食事形態の変更が必要であれば利用者・ご家族の意向を確認のうえ、状態に応じた食事形態に変更を実施しました。

#### 4 短期入所事業の安定と居宅介護支援事業所との連携強化

- 1) 体調が不安定な方や医療的ニーズが増加する中、安心・納得してご利用して頂く為に、居宅介護支援事業所との連携を密に行い、ご家族にもショートステイでの対応限度に関して利用前に丁寧に説明し、納得頂きご利用に結びました。また、ショートステイの空き状況を合わせてお知らせすることにより、ご利用に繋がっています。急なサービス利用にも対応できるように、特養入居者の入院時の空床を詳細に把握し、緊急なニーズにも可能な限り対応できるように努めました。
- 2) ご利用中の些細な変化であっても担当のケアマネージャーに電話にて連絡し、月に1度ご利用時の情報提供を行い綿密な連携に努め、担当ケアマネージャーとの信頼関係の構築に努めました。

以上



平成28年度

## 事業報告書

### 地域密着型特別養護老人ホームしらさぎの里

本年度の年間稼働率は、96.5%と前年度に比べ2.1%の減少となりました。入居者個々に応じた水分ケアを実施する事と、部門間・医療機関との連携を的確に行った事による体調の安定は図れましたが、骨折、重篤な疾患による入院により稼働率の低下に繋がったと思われます。

#### 1 入居者の意思・人格の尊重とサービスの質の向上

地域密着型単体の委員会（食事・排泄・入浴）・フロアー会議・サービス担当者会議において、入居者の意思を尊重し、入居者の有する能力に応じたケアの検討と自立支援に努め、自宅で行ってきた生活の継続と役割を持った生活を送れるように努めました。

##### 1) サービスの質の向上について

###### ① 食事に関して

食事委員会において、入居者の時々の状態に応じた食事時の姿勢・食事形態を話し合い、咀嚼・嚥下状態とどの部分に介助を要するのかを検討し、普通の物を食べられる喜びを実感して頂くためにも、行事食や月一回のバイキングの実施と常食化（ミキサー食→極刻み食→刻み食→一口大→常食）に努めました。

###### ② 排泄に関して

排泄委員会において入居者個々の身体状況・認知症の状況に応じた介助の方法を検討しケアの提供を行いました。

月日\種別	パット交換者	トイレ誘導者
平成28年4月	2名	8名
平成29年3月	3名	7名

###### ③ 入浴に関して

入居者個々の希望・身体状況に応じて、入浴委員会で話し合い、入居者に合った入浴方法を検討し、入浴して頂いております。

月日\種別	個浴	リフト浴
平成28年4月	0名	10名
平成29年3月	0名	10名

④ 特養（広域）と共同し利用者及び家族の思いに添った終末期の看取り介護の実施に努めました。平成28年度ターミルケア実施者：2名（永眠：1名）

⑤ 特養共同の施設行事・フロアー行事に参加頂き、生きがい、目標作りに繋がるような支援に努めました。

### フロアー行事実施記録

日 程	行事内容	日 程	行事内容
4月 8日	誕生日会	10月 8日	誕生日会
4月 20日	ベビーカステラ作り	11月 8日	焼き芋
5月 15日	イチゴの蒸しパン作り	12月 11日	誕生日会
5月 18日	誕生日会	12月 28日	手巻き寿司
6月 1日	ゆず工房ドライブ	1月 1日	誕生日会
6月 25日	そうめん流し	1月 14日	誕生日会
8月 1日	かき氷	2月 1日	たこ焼き作り
8月 24日	誕生日会	2月 3日	豆まき
9月 28日	かぼちゃカップケーキ	3月 9日	鍋パーティー

2) 高齢者虐待の防止の観点からフロアー会議において、高齢者虐待に関する事例検討・良い対応・不適切な対応・声掛けの方法と、入居者への日頃の認知症状への対応方法について話し合い、その中で最善のケア方法の統一を行うことにより、認知症ケアに対する理念の共有化と身体拘束・高齢者虐待に関する意識付けを行いました。

また、フロアー会議において認知症に関する研修会を実施しました。

3) 入居者個々に合った食事提供・栄養ケアの実施

入居者個々に美味しく適切な食事提供を行うため、部門間で連携を図り、身体状況や喫食状況などを常に把握し、低栄養状態の予防・改善、認知症進行の防止に努めました。

① 炊飯や食事の盛り付けはユニットで行いより家庭の雰囲気作りに心掛けました。

また、入居者の食事摂取状況を把握し 個別対応の食事提供に努め、その日の状況に応じて食事形態を微調整し、安全に食事食べて頂けるように努めました。

② 低栄養や褥瘡リスクの高いまたは褥瘡が発生している入居者に対し、看護師・栄養士と連携し、速やかな栄養改善計画を立て適切な栄養管理を行いました。

③ 季節の食材を取り入れた月1回の昼食お楽しみバイキング、ユニット内での入居者との家庭的で楽しみのある食事作りやおやつ作りに努めました。

4) 運営推進会議を行い、地域の自治会、老人会、民生委員、地域包括支援センターに出席いただき、意見を伺いより良い施設の構築に努めました。

## 2 ユニット型の特性を活かしたケアの構築

1) 入居者の要望に耳を傾け 入居者が自分らしく生活を送れ、在宅生活時から現在の状況まで把握できるように、入居者の24時間シート（アセスメント）を活用し、月1回のフロアー会議により内容の検証と共有を行いました。

また、日常的な他部門との連携をしっかりと図ることにより情報を共有し 他の専門職の意図を理解し共通理解のもと援助を行えるように努めました。

### 3 施設運営の安定と経費の適切な管理

#### 1) 健康サポート（状態把握・対応）について

根拠に基づいた介護（水・歩行と排泄）を取り入れ入居者の小さな様子の変化を捉え、嘱託医・各部署間での連携を密にとり体調不良による入院者はおられませんでしたが、医療機関と連携を図り、入院されている方の常態把握を細かく行い、入院期間を把握することにより空床の有効活用に努めました。

### 4 家族・地域との関係の強化について

- 1) 入居者・家族・職員が三位一体となった関係を構築し、明るく家庭的な環境をつくり、家庭との結び付きを重視した生活を提供するために、入居者の身体状況・体調変化時には、タイムリーにご家族への状況連絡を行い、月1回ご家族への近況報告を行いました。また、ご家族の無理のない程度に昼食や外出、ユニット独自の行事などにも呼びかけ家族と過ごす時間をもつて頂きました。
- 2) 四季や生きがいを感じて頂くために、特養・地域密着型特養の合同施設行事にも参加していただきました。

### 5 危機管理について

#### 1) 介護事故及び感染症防止に関わる安全性の確立について

- ① フロアー会議において、危険予測と小さな打撲・すり傷に至るまでの対策を検討し継続して実施した結果、介護事故の減少に繋がりました。また、入居者自身が、皮膚を掻かれて傷や内出血を確認し、家族による外出・外泊をされる前・後のボディチェックを行い 身体状況を確認した結果、変化があればご家族に随時伝えました。

介護事故件数対比表

平成 28 年度	皮下出血 23 件	打撲 44 件	転倒 11 件
----------	-----------	---------	---------

平成 28 年度 総事故件数 52 件

- ② 毎月、感染症対策委員会を開き時季に応じた感染症の同行を確認し、事前の予防・対策を図った結果、感染者はおられませんでしたが。

#### 2) 苦情に関して

入居者・家族への細かなコミュニケーションや連絡・近況報告（写真付き手紙）を適切に行い施設での状況をタイムリーにお伝えし、ご家族の意向も踏まえた対応・ケアの実施に繋げることにより、平成 27 年度の苦情は 0 件でした。

また、2ヶ月に1度、苦情解決委員会を開催し、第三者苦情委員に参加頂き、地域の介護相談についても即 対応しました。

平成 26 年度苦情件数 0 件 平成 27 年度苦情件数 0 件

#### 3) 防災対策について

非常食の食数の見直しも行い 5 日分を常備しています。また、特養共同の防災計画に基づき、消防訓練・救急法実践訓練を実施しております。

## 栄養部門

### 1 バイキングについて

今年度も月1回、昼食バイキングを実施しました。なるべく曜日が重ならないよう計画を立て、献立は季節のものを多く取り入れることを心がけて作成しました。入居者に季節感や華やかさを楽しんで頂けるよう盛り付けや彩りにも配慮しました。

<バイキング風景>



～バイキング実施状況～

実施日	献立内容
4月28日(木)	にぎり寿司 ウィンナーロール 牛しゃぶ ロールキャベツ 春野菜のかき揚げ 青えんどうくず煮 茶碗蒸し あさりの赤だし 苺のムース
5月30日(火)	巻きずし・ネギトロ巻き お好み焼き 季節のお造り ビーフカツ 鮭とほうれん草のキッシュ 冬瓜の含め煮 茶碗蒸し 一ロラーメン 季節のフルーツ
6月20日(月)	鮎ごはん サンドイッチ3種 カニ甲羅グラタン 鰻入り茶碗蒸し なすのはさみ揚げ はもにゅうめん ローストビーフ 生春巻き ロールケーキフルーツ添え
7月29日(金)	サラダ散らし寿司 ミックスピザ エビととうもろこしのかき揚げ 季節のお造り 鶏の唐揚げ薬味ソース 焼きなすとイカの酢味噌和え 茶碗蒸し 枝豆のポタージュ 白玉フルーツポンチ
8月19日(金)	うなぎのひつまぶし チヂミ 季節のお造り なすのミートグラタン はもフライ サーモンとアボカドの生春巻き 茶碗蒸し すまし汁 ピーチムース
9月29日(木)	松茸ごはん ロールパンサンド サーモンのマリネ なすのエビサンドサラダ 鶏ささみ味噌チーズカツ ふろふき大根 茶碗蒸し 秋野菜の豚汁 さつま芋プリン
10月19日(水)	にぎり寿司 ウィンナーロール ロール白菜 鮭とチーズの春巻き カキフライ 生麩の田楽 茶碗蒸し 松茸のすまし汁 抹茶ムース
11月21日(月)	かきごはん 手作りカレーパン エビのポテトフライ 鶏蓮根つくねの照り焼き きのこと南瓜のキッシュ 茶碗蒸し 中華風コーンスープ 季節のお造り クレームブリュレ

12月21日(水)	ピラフ サンドイッチ3種 ぶりのカルパッチョ カニクリームコロッケ クリスマスマートルーフ かぶのスープ煮 餅入り茶碗蒸し 一口みぞれ蕎麦 プチシューいちご添え
1月28日(土)	いなり寿司 焼きそばパン カニ甲羅グラタン まぐろの香味野菜サラダ 明太チーズのトンカツ おでん5種 茶碗蒸し ぶりの吸い物 オープンアップルパイいちご添え
2月24日(金)	かにめし 手作り肉まん 季節のお造り エビマヨネーズ きのこスープ ぬた 茶碗蒸し はまぐりの吸い物 手作りプリン
3月25日(土)	サラダ散らし寿司 ハムチーズのフレンチトースト 季節のお造り ビーフカツデミグラスソース 鯛の桜蒸し 揚げ豆腐のあんかけ茶碗蒸し あさりの赤だし 桜餅いちご添え

## 2 ケーキバイキングについて

栄養士手作りによるケーキバイキングを実施しました。入居者の方やデイサービス利用者の方にとっても喜ばれていました。

<ケーキバイキング風景>



<特養・デイケーキバイキング実施状況>

特養	デイ	作成したデザート
5月24日(火)	5月24日(火)	シュークリーム ロールケーキ チョコプリン わらびもち
9月9日(金)		シュークリーム バイクドチーズケーキ いちじくのミルフィーユ ぶどうのムース
	12月20日(火)	(クリスマスデザートプレート) ツリーケーキ クレームブリュレ 雪見大福 ガトーショコラ

### 3 行事報告（行事食及び給食関係）

<特養>

日 程	行 事 内 容
4月 5日（火）	特養花見（弁当手配・作成・提供）
4月 7日（木）	特養ホットケーキ作り（食材準備・調理指導）
4月 19日（火）	ユニット誕生日会（プリン作成）
4月 28日（木）	ユニットベビーカステラ作り（食材準備・調理指導）
5月 23日（月）	ユニット蒸しパン作り（食材準備・調理指導）
5月 28日（土）	ユニットフルーツ作り（食材準備・調理指導）
6月 27日（月）	新館あんこ焼き作り（食材準備・調理指導）
7月 1日（金）	ユニット流しそうめん（食材準備・提供）
7月 6日（水）	本館かき氷作り（食材準備・提供）
7月 17日（日）	特養夏祭り（模擬店準備・調理指導・販売）
7月 28日（木）	特養ビアガーデン（食材準備・提供）
8月 1日（月）	ユニットかき氷作り（食材準備・提供）
8月 5日（金）	新館かき氷作り（食材準備・提供）
8月 25日（日）	特養運動会（弁当の手配、作成、提供）
9月 15日（木）	本館ホットケーキ作り（食材準備・調理指導）
9月 27日（火）	新館おやつ作り（食材準備・調理指導）
9月 28日（水）	ユニットカップケーキ作り（食材準備・調理指導）
11月 13日（日）	特養運動会（弁当の手配、作成、提供）
11月 17日（火）	新館鍋パーティー（食材準備・調理指導）
11月 24日（木）	ユニット焼きいも（食材準備）
12月 11日（日）	ユニットホットケーキ作り（食材準備・調理指導）
12月 17日（土）	特養餅つき（食材準備・調理指導）
12月 18日（日）	新館ケーキ作り（食材準備・調理指導）
12月 28日（水）	ユニット手巻き寿司作り（食材準備・調理指導）
1月 24日（火）	新館焼きいも（食材準備）
1月 10日（日）	新館ちゃんこ鍋パーティー（食材準備・調理指導）
2月 1日（水）	ユニットたこ焼き作り（食材準備・調理指導）
3月 9日（木）	ユニット鍋パーティー（食材準備・調理指導）
3月 17日（金）	お彼岸（おはぎ作成・提供）

#### 4 嗜好調査について

個別の嗜好調査として、月1回の頻度で栄養士・厨房職員による聞き取り調査を行いました。

特養入居者・デイサービス利用者を対象とした嗜好調査を行い、結果に基づいた献立作成を心がけました。利用者の生活歴や意見に触れることができ、職員意識の向上に反映させることができました。

また、今年度は全特養入居者とデイサービス利用者を対象にした一斉嗜好調査を年1回実施しました。一斉に実施することで喫食者の意見をデータ化することができ、より良い給食運営につなげることができました。




#### 5 栄養士または管理栄養士養成課程の実習生受け入れ

特別養護老人ホームしらさぎの里では、栄養士または管理栄養士養成課程の実習生の受け入れを行っています。平成28年度は3名の実習生を受け入れ、「給食の運営」において給食業務を行うために必要な食事計画や調理を含む給食サービス提供に関する技術を指導しました。

#### 6 男の料理教室への参加・指導

今後、少子化高齢化社会が進むにつれて、独居になる、あるいは介護する立場になる可能性のある男性が増えています。家庭においても料理に関心を持ち、簡単なものなら作ることが出来るという自信を持って頂くことを目的とし、男の料理教室への参加・指導を行いました。

～実施状況～

実施日／担当	献立	参加者 人数	
4月16日(土) 村田	・いかなごぐぎ煮の巻き寿司 ・筍の木の芽和え ・あさりの潮汁 ・焼きプリン	8名	
5月21日(土) 福岡	・鱈の南蛮漬け ・芋もち ・キャベツとスナップエンドウのみそ汁 ・コーヒーぜんざい	10名	
6月18日(土) 村田	・豚丼 ・三色野菜のナムル ・あさりのみそ汁 ・抹茶きなこわらび餅	11名	



8月20日(土) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酢豚</li> <li>・ごま豆腐</li> <li>・トマトと卵と桜えびの中華スープ</li> <li>・はちみつゼリー</li> </ul>	8名	
9月17日(土) 村田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいもご飯</li> <li>・鶏のさっぱり炒め</li> <li>・ごぼうサラダ</li> <li>・はんぺんのすまし汁</li> <li>・いちじくのコンポート</li> </ul>	5名	
10月15日(土) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鮭ごはん</li> <li>・チキン南蛮タルタルソース</li> <li>・ぶり大根</li> <li>・豆腐とわかめのすまし汁</li> <li>・ぶどう大福</li> </ul>	7名	
11月19日(土) 村田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そばろと目玉焼きのおにぎらず</li> <li>・鯖のカレー竜田揚げ</li> <li>・具だくさんかす汁</li> <li>・たまごボーロ</li> </ul>	10名	
1月21日(土) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵方巻2種</li> <li>・茶碗蒸し</li> <li>・沢煮椀</li> <li>・春のわらびもち</li> </ul>	8名	
2月18日(土) 村田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カレーうどん</li> <li>・れんこんのえびはさみ揚げ</li> <li>・菜の花のごま和え</li> <li>・苺のブランマンジェ</li> </ul>	10名	
3月18日(土) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肉巻きおにぎり</li> <li>・鰯の香味衣天ぷら</li> <li>・たことわけぎの辛子酢味噌和え</li> <li>・蛤のすまし汁</li> <li>・豆花(豆乳デザート)</li> </ul>	6名	

## 7 しらさぎ料理教室開催によるしらさぎの里の役割

平成21年度から毎月地域の団塊世代を対象としたゆたりん料理教室を継続開催し、平成24年度から名称をしらさぎ料理教室と変更しております。平成28年度からは「しらさぎ健康料理教室」とし、2か月に1回毎回テーマを決めて食に関する健康講座を開催し、それに関連した調理実習を実施しました。地域貢献事業として管理栄養士が講師となり地域住民への食と健康に関する知識の普及啓発を行いました。



～実施状況～

実施日／担当	献立	参加者 人数	
5月19日(木) おいしく減塩 クッキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜ジュースで煮込みハンバーグ</li> <li>・野菜と豆腐のディップ</li> <li>・たことカリフラワーの酸味さわやか サラダ</li> <li>・ごぼうのポタージュ</li> <li>・キウイとマンゴーの豆花(トーフア)</li> </ul>	14名	
7月21日(木) 夏のスタミナスピ ードクッキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タコライス</li> <li>・ねばねばサラダ</li> <li>・ゴーヤスープ</li> <li>・スイカゼリー</li> </ul>	14名	
9月15日(木) 貧血予防 クッキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たっぷり枝豆入りご飯</li> <li>・牛肉のマリネ サラダ風</li> <li>・小松菜とあさりのスープ</li> <li>・オレンジのババロワ</li> </ul>	14名	
11月24日(木) 体脂肪を ためない! 食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごはん</li> <li>・鶏むね肉・ブロッコリーのトマトチ ーズ焼き</li> <li>・さつまいものポタージュ</li> <li>・ミルクもち</li> </ul>	15名	
1月26日(木) 免疫力を高める 食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶏とまいたけの炊き込みご飯</li> <li>・ロール白菜</li> <li>・キャベツの生春巻き</li> <li>・ミルフィーユ</li> </ul>	14名	
3月23日(木) 骨粗鬆症を防ぐ 食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃこと菜の花のちらし寿司</li> <li>・鮭とほうれん草のキッシュ</li> <li>・厚揚げの豚巻き</li> <li>・菜の花と蛤のクリームスープ</li> <li>・プリン</li> </ul>	14名	

以上

平成28年度

事業報告書

デイサービスセンターしらさぎ

1 デイサービス利用状況

(月別平均利用者数)

	月別平均利用者数		月別平均利用者数
4月	26.5名	10月	29.3名
5月	28.0名	11月	29.6名
6月	29.4名	12月	28.6名
7月	28.2名	H29.1月	28.3名
8月	27.7名	2月	28.6名
9月	27.9名	3月	28.1名

年平均 28.3名

介護度別平均利用者数

(予防)

	要支援1	要支援2
28年度	7名	13名

(通所)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
28年度	22名	21名	11名	3名	1名

平均介護度 2.0

(利用者年齢構成)

	男性	女性	合計
～69歳	1	3	4
70～74歳	0	3	3
75～79歳	4	6	10
80～84歳	8	10	18
85～89歳	9	31	40
90～94歳	6	18	24
95～99歳	1	4	5
100歳～	0	0	0
合計	29	75	104
平均年齢	84.7	84.7	84.7
最低年齢	67	66	
最高年齢	95	98	

## 2 住み慣れた地域での生活

利用者・ご家族の特性や生活環境などを把握し、利用者が現存機能を最大限に活用しながら、自宅での生活が継続できるように、個々の利用者の身体状況に合わせた機能訓練や誰でもが楽しく参加できるような体操など身体機能の維持・向上を図るように努めました。また、中重度の方の受け入れも柔軟に行い、ご家族やケアマネジャーとこまめに情報を共有し、ご家族の自宅での介護負担を軽減することで、少しでも長く在宅で一緒に生活を送ることができるようご支援しました。

サービスマニューについては、利用者の趣味や希望に沿ったものや集中して取り組めるものを用意するなど選択肢を増やし、メリハリを持って過ごせる環境づくりに努め、デイサービスでの様子をご家族にも伝え、ご自宅での過ごし方や生活環境を整えることなどの参考にさせていただきました。昨年のコグニサイズに加え、頭と指先を使ったゲームなどを、少しずつ変化をつけながら実施し、認知症予防に努めました。

## 3 利用者の確保について

稼働率 80%を目標とし、利用者やご家族のそれぞれの立場を尊重しつつ、寄り添い、利用促進に努めました。28年度は、稼働率 81.0%と目標を達成することができました。毎月発行している『デイサービスセンターしらさぎ新聞』を配布し、デイサービスの取り組みを地域の方や居宅支援事業所などに周知できるように努めました。利用者や地域の方からの情報を基に、しらさぎ居宅介護支援事業所と連携し、必要な方には速やかに訪問し様子を伺うなどのアプローチを行い、利用につながるよう努力しました。また、利用中の方の休みが続いた場合には、担当ケアマネジャーへの確認やご自宅への連絡を行い、様子伺いを行いました。

中重度になると、ご家族の介護負担が大きくなるため、入所希望やショートステイの利用頻度が多くなるが、その中でも、ご本人の希望や「できるだけ自宅で過ごさせてあげたい」などのご家族の思いを汲み取り、家族やケアマネジャーとの相談や情報共有を密に行い、安心して利用して頂けるように努めました。

## 4 サービスの質の向上について

脳トレの一環として、利用者が色々な種類の中から選択できるように、パズルの種類を増やし、他にも利用者同士が協力して一つの作品を作るための制作、畑での野菜・果物作り、調理の下準備、利用者が職員と一緒にできる日常生活作業などに積極的に参加して頂きました。利用者の機能の維持・向上を図るため、リハビリや体操による運動機会を設け、個々の状況に応じて、車椅子の方は車椅子から歩行器へ、歩行器からシルバーカーへ、シルバーカーから杖へというように常に自立歩行を目指します。歩行に限らず、生活上必要な機能の回復・向上を意識し、対応しています。また、多種多様なボランティアを受け入れ、地域の方との交流や施設理解を深めました。選択メニューの充

実化は、個別レクリエーションの材料代を徴収することで個別化が図れ、利用者自身が個々に選択した取り組みを尊重することが実現しました。

(年間行事)

4月	花見、ドライブ（チューリップ）、外食（一休）、
5月	外食（ながさわ）、ドライブ（バラ園、ルピナス）、ケーキバイキング
6月	ドライブ（あじさい）、買い物（たつのコープ）、避難訓練
7月	ドライブ（ひまわり）、外食（ながさわ）、喫茶店、
8月	ミニ夏祭り、そうめん流し、喫茶ドライブ、買い物（百均）
9月	敬老会、外食（お寿司）、喫茶ドライブ、おやつ作り
10月	合同避難訓練、おやつ作り
11月	おやつ作り、
12月	クリスマス会、お楽しみ会、おやつ作り
H29.1月	初詣、新年会、おやつ作り
2月	節分、おやつ作り
3月	外食（ながさわ）、おやつ作り

## 5 他事業所及び地域との連携

利用者の利用状況やデイサービス利用時の様子、健康状態の変化などを毎月担当ケアマネジャーに報告し、緊急性が高い時には直接電話連絡して対応方法を相談し、利用者やご家族の意向を確認しながら、デイサービスからの提案内容に関する相談を行い、利用者が安心して在宅生活を継続することができるように努めました。また、ご家族の生活にも配慮し、介護負担の軽減や安全で安心して過ごせる在宅生活の環境づくりに努めました。

地域貢献事業としては、各地域の身近な場所で地域ミニデイを開催し、地域の馴染みの方々に気軽に参加して頂き、脳トレ、体操、ゲーム、勉強会などを楽しみながら交流して頂きました。しらさぎふれあいサロンは、4月、6月、8月に開催しました。地域の方と交流できる機会としてデイサービスの利用者にも参加を促し、ご近所の方や知り合いの方との交流機会を築いています。また、職員が地域のふれあいサロンに参加させていただき、啓発活動や介護相談、地域からの情報収集などに努めています。

(地域ミニデイ月平均参加者数)

下構総合センター	5名
太市中公民館	11名
太市西脇公民館	3名
山田・松山公民館	9名

(生きがいデイサービス)

月	一日平均利用者数	月	一日平均利用者数
4月	9名	10月	10名
5月	9名	11月	11名
6月	12名	12月	11名
7月	11名	H29. 1月	7名
8月	12名	2月	10名
9月	11名	3月	9名

一日平均利用者数 10名

## 6 職員の質の向上について

(施設外研修)

日程	研修名	参加者
4月21日	バリアフリー2016	山本
5月21日	3部会合同勉強会	山本
7月11日	認知症機能訓練基礎研修	三木
8月5日	認知症機能訓練実施研修	三木
8月30日	通所介護事業所に対する集団指導	山本
9月29日	感染症対策会議	小村
10月17日	介護予防・日常生活支援総合事業説明会	山本
10月26日	介護サービス事業者に対する集団指導	山本
10月31日	感染症対策研修	福原
11月17日	社会福祉大会	山本

(施設内研修)

研修月	研修名
4月	H28年度事業計画について
5月	心肺蘇生の流れと役割分担の確認・排泄介助と食事介助について
6月	入浴介助について
7月	介護事故、車両事故の対応及び防止
8月	利用者の健康管理について
9月	在宅生活を継続するためのデイサービスの役割・認知症ケアについて 高齢者虐待の防止と身体拘束について
10月	施設における感染症対策・利用者本位の介護とは
12月	介護業務について (マニュアルの確認)
H29. 2月	個人情報、プライバシー保護について
3月	リスクマネジメントの考え方

研修に参加することで技術と知識を向上させ、あらゆる場面で職員が利用者に対して質の高いサービスの提供ができ、職員が自らの介護技術や業務内容を再確認し、改善を図るなど、常に顧客満足の向上に取り組みました。また、ひとつひとつのケアがどのような意味を持っているかを理解し、根拠に基づいた介護を行い、利用者が安心・安全に生活を送ることができるように努めました。

## 7 健康管理について

感染症予防の為に来所時や外出時の手洗い・うがいを徹底し、感染症の流行時には来所時と昼食後に検温を行い、体調変化の早期発見、感染症の蔓延予防に努めました。体調の不安定な方には、こまめな経過観察やご家族との連絡を密にし、時には受診をお願いするなど、利用者・ご家族の安心につながる支援を行いました。

## 8 経費削減について

レクリエーションに使用する材料や道具類については、出来る限り段ボールなど身近な物で手作りをし、備品の消耗・摩耗を軽減できるように工夫をして、経費削減に努めるとともに、公共資源を大切に、効率的に利用しました。

(事故件数)

19件

転倒・転落・・・9件

誤薬・・・1件

その他・・・1件

車の損傷・・・8件

(苦情件数)

2件

以上

平成28年度

## 事業報告書

居宅介護支援事業所  
しらさぎ在宅介護支援センター

### 1 サービス提供計画

利用者、ご家族との面談などを通して、アセスメントを十分に行い、ニーズの把握やその都度必要なサービスを調整し、支援しました。自宅での生活が円滑に継続できるように、またレスパイトなどの観点も踏まえ、デイサービスの回数を増やすなど、ショートステイの利用ができるように支援していきました。

利用者の権利擁護にも留意し、高齢者虐待防止にも努めました。訪問時などを通じて、利用者やご家族の変化などに気付いた時には、事業所内で会議を開き、地域包括支援センターにも報告しました。地域ケア会議の開催を経て、現在は他の市に転居することができたケースや、姫路市の地域包括支援課に関わってもらい、医療チームなどの対応や、兵庫式24時間LSA地域見守り事業（しらさぎ見守り隊24）の週1回の訪問、週2回の電話連絡、遠方の家族の希望で、夜間の訪問を行ってもらい、興奮状態から穏やかな状態になり、現在もサービスを利用しながら、一人暮らしの生活を継続できているケースがありました。また独居のケースには、身寄りがなく、入院時などの対応が困難になってきたので、成年後見制度の手続きを行い、安心して生活を送ることができるように支援しました。

### 2 担当利用者数の確保

住み慣れた地域で生活を送ることができるように、地域住民、自治会、民生委員、地域包括支援センターなどとの間で情報提供や情報交換を行いました。また介護サービスが必要になった時には、介護保険の手続きや介護相談を行い、自宅での生活が困らないように早急に対応を行いました。

地域のふれあい喫茶にも参加、アットホーム林田しらさぎで、介護者教室や介護者のつどいを開催して、地域住民が参加しやすいように工夫し、出かける機会や地域との関わりを深めてもらえるようにしました。地域で介護相談窓口を開き、「地域に根ざした福祉」を実践しました。また介護者教室やしらさぎふれあいサロンを開催することにより、出かけることが少なくなった方のご紹介や相談が増えてきました。

安定した事業所運営に取り組むために、稼働率の向上のため、介護支援専門員が、各自でも担当ケースを把握して、新規利用者の獲得ができるように努力しました。新規の介護給付が52件、予防給付が14件ありましたが、法人の特養の入所に13件、死亡で終了が18件、他施設の入所が5件、長期入院やサービス終了が10件、合計で終了が46件で、また9月から地域包括支援センターから1名異動で、職員を増員したこともあり、新規

があるものの、終了が多かったため、稼働率の向上ができなかった。今後は、特養などの施設入所を希望されるケースを見据えて、新規の依頼を受けることができるようにしていきたいと思いました。

地域包括支援センターや利用者家族から、要支援1、2の予防給付の依頼を、積極的に受け入れてきたので、デイサービスの利用に繋げることができ、また地域住民からの相談を増やすことができました。

ケアプラン作成件数 予防給付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援受託	22	23	24	24	24	31	30	31	29	34	26	29	337

### 3 サービス利用のための事業所同士の連携強化

対応困難な事例ケースには、併設の特別養護老人ホームしらさぎ・兵庫式24時間LSA地域見守り事業（しらさぎ見守り隊24）・デイサービスセンターしらさぎや地域包括支援センター、民生委員などの関係機関とも連携をとり、その問題解決を図りました。

医療機関とも連携を図り、自宅での生活が継続できるように支援しました。入院時には、病院担当者に情報提供を行い、退院前にはカンファレンスに参加して、退院時、スムーズに自宅での生活に戻れるように支援しました。

ネグレクト、認知症で独居、生活困窮で利用料の支払いができないなど、様々なケースがあるが、地域包括支援センターや民生委員、行政などに相談し、社会資源の利用やサービスの調整等を行い、自宅での生活の継続や転居ができるように支援しました。

新規利用者 受け付け

申し込み先	平成28年度	平成27年度
ご家族、本人	22	29
書写林田地域包括支援センター	6	7
大白書地域包括支援センター	10	14
その他の地域包括支援センター	1	0
民生委員	0	1
病院	2	2
しらさぎの里特養・LSA見守り	2	0
他事業所 (福祉用具事業所・サービス付き高齢者住宅)	3	1
合計	46	55



#### 4 介護支援専門員としての質の向上とメンタルヘルス

専門職であるという意識を持ち、多様に変化する介護保険制度を円滑に実施するため、必要な制度や知識の取得のために、外部研修への参加や内部研修の実施により、職員の知識、資質の向上に力を入れました。また主任介護支援専門員3名は、地域包括支援センターが主催する、包括的・継続的ケアマネジメントのブロック研修の企画や運営に携わり、地域の介護支援専門員に対しての支援として相談や助言を行いました。

特定事業所加算Ⅱを算定しているため、ケアマネ実務研修における、ケアマネジメントの基礎技術に関する実習に1名の希望があり、介護支援専門員としての必要な知識や情報の習得に努めました。

事業所内で、週1回、事業所連絡会議を行い、担当ケースについて、一人で悩むことがないように、事業所全体で、問題の解決方法を検討しました。担当者が不在でも、普段から、他の職員も、そのケースに対応ができるように、情報交換を行い、相談時にはすぐに対応できるようにしました。日々相談業務に携わる職種であるため、ストレスによるバーンアウトを引き起こさないように、心身の健康管理には、十分配慮しました。

##### 平成28年度 介護者教室・介護者のつどい

開催日	テーマ	講師	場所
5月13日	知っておこう！ 福祉用具の豆知識	ケアショップニシキ姫路 福祉用具専門員松山隆生氏	アットホーム 林田しらさぎ
6月9日	自宅でできる転倒予防体操	いなもち医院 理学理学療法士 池淵氏	アットホーム 林田しらさぎ
7月8日	教えて！補聴器のこと	パナソニック補聴器 小嶋直勝氏	アットホーム 林田しらさぎ
9月7日	インフルエンザについて	佐野内科ハートクリニック 院長 佐野一成氏	アットホーム 林田しらさぎ
11月15日	高血圧のお薬について	わたや薬局横内店 薬剤師澤江秀人氏	アットホーム 林田しらさぎ
平成29年 1月18日	高齢者の健康づくり	姫路市安富保健センター 保健師 守本祥代氏	アットホーム 林田しらさぎ

##### 外部研修

開催日	研修名称等	出席職員	開催場所
4月21日	バリアフリー2016 (福祉機器等見学)	福岡	インテックス大阪
5月26日	ケアマネジメント力向上会議	福岡・松下	姫路医師会館
7月21日	兵庫県認定員調査員研修	富永・松下	姫路労働会館

7月23日 ～8月28日	主任介護支援専門員更新研修	福岡	のじぎく会館他
7月28日	地域連携交流会	富永・松下	酒井フルーツガーデン
9月26日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント研修	富永・松下・花本	西保健福祉サービスセンター
10月18日	高齢者虐待対応力向上研修	花本	姫路労働会館
10月18日	介護予防・日常生活支援総合事業 説明会	福岡	姫路市役所
10月26日	介護サービス事業者に対する 集団指導	富永	姫路文化センター
10月31日	ケアマネ・地域包括部会	福岡・富永	南保健センター
11月11日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント研修	福岡・富永・松下・花本	白鳥城スワン
11月14日	実務研修受け入れ説明会	福岡	姫路勤労会館
11月24日	ケアマネジメント力向上会議	福岡・花本	姫路総合教育研修
12月19日	介護予防・日常生活支援総合事業 説明会	富永	たつの市福祉会館
平成29年			
2月20日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント研修	福岡・松下・長谷川	白鳥城スワン

内部研修

4月4日	介護報酬に関する基準について	福岡・富永・松下・長谷川	事業所内
5月13日	福祉用具の上手な使い方	福岡・富永・松下・長谷川	事業所内
6月9日	自宅でできる転倒体操について	福岡・富永・松下・長谷川	事業所内
7月8日	補聴器の専門知識について	福岡・富永・松下・長谷川	事業所内
8月24日	気づきの事例検討会	福岡・富永・松下・長谷川	事業所内
9月7日	インフルエンザについて	福岡・富永・松下・長谷川・花本	事業所内
10月20日	高齢者虐待対応について	福岡・富永・松下・長谷川・花本	事業所内
11月15日	高血圧のお薬について	福岡・富永・松下・長谷川・花本	事業所内
12月1日	法令順守について	福岡・富永・松下・長谷川・花本	事業所内
平成29年			
1月18日	高齢者の健康づくりについて	福岡・富永・松下・長谷川・花本	事業所内
2月1日	苦情処理体制について	福岡・富永・松下・長谷川・花本	事業所内
3月1日	スーパービジョンについて	福岡・富永・松下・長谷川	事業所内

## 5 地域貢献事業について

地域で介護相談窓口を開催

六九谷公会堂（ H28.5/7、7/2、9/3、11/5、H29.1/14、3/4 ）

勉強会開催

太市老人クラブ連合会（H28.11/18）「介護保険について」

あすなろ教室

林田中学校（H29.1.31）「介護は突然やってくる」

介護者教室は、アットホーム林田しらさぎで、地域の方や利用者家族が参加しやすいように、工夫しました。介護保険制度や医療や健康などもテーマにして、参加者に知ってもらいたい内容にしました。

勉強会の依頼時には、必要となった時に困らないように、介護保険制度が地域住民や若い世代などに浸透するように、勉強する内容などにも工夫しました。

「しらさぎふれあいサロン」は、地域のボランティアグループにも協力を得て開催しました。喫茶の提供、勉強会やカラオケ、ゲームなどを企画し、地域の方と入居者、デイサービスの利用者との交流ができる環境づくりに努めました。今年度は、改修工事やインフルエンザ予防のために、2ヶ月に1回の開催を一定期間見送る形をとりました。

## 6 特定事業所集中減算

平成27年4月から、対象サービスの範囲が外され、特定事業所の割合が正当な理由無く80%を超えた場合は、減算されるため、サービス事業者が偏らないように、利用者の立場を尊重しつつ、サービスの調整を行いました。併設の特別養護老人ホームしらさぎの里の短期入所生活介護の利用希望が多く、他の施設の利用を希望されない利用者やご家族が多かったため、前期（H29.3/1～H29.8/31）は、81%だったが、併設の特別養護老人ホームしらさぎの里の入所申し込みをすれば、姫路市が正当な理由として認めており、その結果50%まで下がり、減算対象には該当しなかった。併設の短期入所生活介護を利用する場合は、利用者やご家族に、入所希望を確認し、希望があれば入所申し込みを行い、姫路市の正当な理由が認められるように、対応しました。事業所の選定にあたっては、各事業所の特色や情報などを収集して、利用者に情報提供を行い、利用者やご家族の希望に寄り添いながら、サービスの利用につなげるようにしました。

認定調査実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定調査 実施件数	7件	2件	5件	10件	4件	13件	4件	9件	1件	5件	9件	5件	74件

介護給付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	53	52	52	52	52	54	53	52	53	50	48	46	617
要介護2	27	26	27	31	30	28	27	27	31	32	32	33	351
要介護3	25	26	28	26	28	23	23	26	24	24	21	21	295
要介護4	10	5	4	7	9	10	13	15	16	11	11	10	121
要介護5	5	6	6	4	3	4	4	4	1	1	1	1	40
													1424

以上

平成28年度

## 事業報告書

姫路市大白書地域包括支援センター

### 1 職員体制

- ・統括責任者…1名（兼任）
- ・保健師等…1名
- ・社会福祉士…1名
- ・主任介護支援専門員…1名
- ・認知症担当…1名
- ・指定介護予防支援従事者…3名

合計 7名

### 2 活動実績

1) 相談件数（開所日数は年間243日）

区分	電話	来所	訪問	その他	合計
件数	532 (542)	173 (147)	178 (177)	5 (9)	888 (875)

※（ ）は昨年度、以下同様。「その他」はメール、FAX。

2) 相談者数

区分	本人 家族	行政機関		地域包括支援 センター	ケアマネジャー	介護保険 サービス事業者	医療機関	その他 関係機関等	民生委員	地域団体等	計
		市役所	警察等								
件数	678 (681)	49 (27)	10 (12)	7 (16)	125 (112)	100 (120)	77 (96)	22 (21)	25 (34)	44 (27)	1137 (1146)

3) 相談内容（重複計上あり）

区分		件数
一般相談	介護予防に関すること	36 ( 19)
	介護相談	24 ( 49)
	医療・健康相談	98 ( 75)
	生活相談	527 (381)
介護保険制度全般		696 (610)
フォーマル サービス	保健福祉関係	39 ( 26)
	その他	3 ( 0)
インフォーマルサービス		18 ( 13)

権利擁護関係	虐待	31 ( 1 )
	消費者被害	0 ( 1 )
	成年後見等	10 ( 2 )
その他		9 ( 7 )
ケアマネジメント支援		35 ( 16 )
計		1526 (1200)

4) 他機関連絡調整件数

ア 連絡方法

区分	電話	訪問	その他	計
件数	379 (295)	44 (54)	6 (4)	429 (353)

イ 連絡先

区分	行政機関		地域包括支援センター	ケアマネジャー	介護保険サービス事業者	医療機関	その他関係機関等	民生委員	地域団体等	計
	市役所	警察等								
件数	100 (83)	5 (6)	6 (8)	105 (73)	137 (86)	42 (56)	12 (20)	20 (15)	2 (6)	429 (353)

5) ケース検討会（地域ケア会議の開催）・・・6件

### 3 介護予防ケアマネジメントに係る活動

1) 介護予防普及啓発事業

- ① 自主活動グループの活動支援…4カ所
  - ・なごみの会・23（ふみ）の会・レモンクラブ（H28年度新規）
  - ・男性料理の会（H28年度新規）
- ② いきいき百歳体操の活動支援…12カ所
  - 白鳥：柴崎公民館、川西台公民館、実法寺総合センター（H28年度新規）
  - 西市民センター健康増進室（H28年度新規）、コープつどい場（H28年度新規）
  - 太市：丸山公民館、相野公民館（H28年度新規）
  - 青山：東遠山集会所、西夢前台1・2丁目公民館、人丸神社、青山苑、青山西公民館（H28年度新規）
- ③ いきいき百歳体操交流会（年1回）
  - 青山苑にて開催
- ④ 認知症サロン…5カ所

- 白鳥：白鳥老人クラブ第4班、おれんじサロン、柴崎ピンピンクラブ  
 青山：西夢前台夢クラブ、東遠山さくらグループ
- ⑤ 認知症サポーター養成講座（9か所）  
 青山：ゴダイ薬局青山店（ゴダイ薬局新入社員）2回、青山公民館（はなのいえ  
 市民フォーラム、人丸神社（いきいき百歳体操参加者）  
 白鳥：柴崎公民館（いきいき百歳体操参加者及び姫路信用金庫職員）、おれんじサ  
 ロン  
 太市：丸山公民館（いきいき百歳体操参加者）、西脇公民館（JA兵庫西姫路西部営  
 農生活センター会員）  
 林田：伊勢公民館（林田消防署消防士）大白書、安富、書写・林田包括合同開催
- ⑥ ふれあいサロンの開催  
 白鳥・おしゃべりサロン（飾西東公民館）
- ⑦ 男性介護者のつどい（認知症カフェを兼ねる）  
 太市の民家にて開催（H29.1より白鳥校区民家に移動）
- ⑧ いきいき相談室 白鳥：実法寺総合センターにて（年間10回）勉強会及び交流会
- ⑨ 白鳥 ふれあい食事会（西市民センター大ホール）
- ⑩ 太市 ふれあい食事会（太市公民館）
- ⑪ 白鳥 川西台勉強会  
 「我が家の健康づくりについて」3回シリーズで開催  
 「認知症について」
- ⑫ 林田消防署管内交流会（林田公民館、伊勢公民館等）、西夢前台1・2丁目公民館  
 林田消防署消防士、大白書・書写林田・安富包括、中央保健センター合同開催
- ⑬ 青山校区町別学習会 「認知症について」（西夢前台1・2丁目公民館）
- ⑭ 白鳥 かしのき祭り
- ⑮ 太市 敬老祝賀会出席
- ⑯ 太市 老人クラブ勉強会（太市公民館）
- ⑰ 白鳥 グループホームサザンツリー音楽交流会
- ⑱ 白鳥 社協事業（子育て、ふれあい食事会）  
 合同行事参加（クリスマス会、餅つき）
- ⑲ 青山公民館講座 「介護保険・介護予防について」
- ⑳ 白鳥公民館講座 「介護保険・介護予防について」、「認知症予防について」
- ㉑ 白鳥校区 民生委員定例会勉強会
- ㉒ 徘徊模擬訓練参加
- ㉓ 青山 中町とんど祭り
- ㉔ 白鳥 実法寺総合センターふれあいカラオケ祭り
- ㉕ 生涯現役フェスティバル相談コーナー（文化センター展示室）

②⑥ 介護予防教室の開催(介護予防体操の普及啓発)

青山：青山西公民館、太市：向山公民館、白鳥：飾西東公民館

広域：姫路市地域包括支援センターふれあい祭り 2016 の合同開催

②⑦ 生活・介護支援サポーターの活動支援

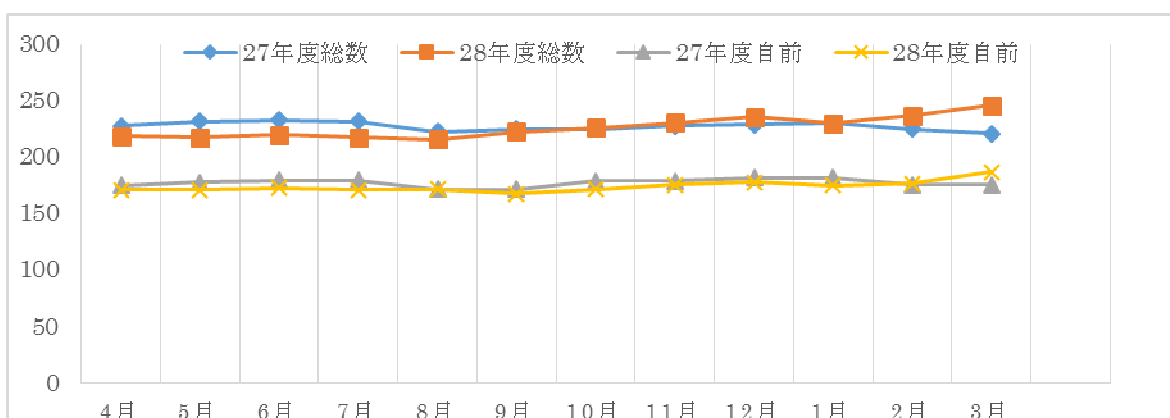
地域包括支援センターでの活動 4名

在宅訪問による活動（コーディネート件数） 1件

初回同行訪問（マッチング実施件数） 1件

#### 4 介護予防支援に係る実績

ケアマネジメント実施件数（件）



・自前プラン件数（件）平成 27 年度平均 178 件 →平成 28 年度平均 174 件（4 件減）

・委託プラン件数 平成 27 年度平均 50 件 →平成 28 年度平均 52 件（2 件増）

・プラン作成総数（件）平成 27 年度平均 228 件 →平成 28 年度平均 227 件（1 件減）

・年度内新規利用件数 平成 27 年度合計 67 件 →平成 28 年度合計 84 件（17 件増）

・要介護移行（認定更新又は見直しによる要支援から要介護への変更）

平成 27 年度合計 37 件 →平成 28 年度合計 40 件（3 件増）

・終了者（自立または転居、死亡による利用終了）

平成 27 年度合計 8 件 →平成 28 年度合計 11 件（3 件増）

・要支援 1 平成 27 年度平均 90 件 →平成 28 年度平均 89 件（1 件減）

・要支援 2 平成 27 年度平均 137 件 →平成 28 年度平均 138 件（1 件増）

総件数と自前プラン件数ともに前年度とほぼ、同数で推移していたが、年明けより増加傾向にあり、今後とも利用増が見込まれる。



## 5 包括的継続的ケアマネジメント

- ① ケアプラン研修会の開催  
ブロックリーダー会議 年間 4 回
- ② 居宅介護支援事業所・介護支援専門員との同行訪問  
困難事例への対応 委託プランの対応
- ③ 介護支援専門員からの相談対応（支援者支援）
- ④ 地域包括支援センターだより『ほうかつ新聞』の回覧、配布（毎月 19 日頃発行）
  - ・各校区自治会長・自治会役員・民生委員・老人クラブ連合会長・老人クラブ会長
  - ・各町の公民館
  - ・各種サービス事業所  
（特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、ケアハウス、小規模多機能、グループホーム、居宅介護支援事業所等）への配布及び掲示
  - ・金融機関、医療機関への配布・掲示、
  - ・その他、自立活動グループ、介護者の集い、ふれあいサロン、いきいき百歳体操、認知症サロン参加者への配布など。以上、毎月およそ 1000 部を発行し、配布、回覧の対象を効率的に拡大。  
（地域の活動に対する理解、協力、連携、情報の周知、啓発・注意喚起に効果。）

## 6 職員の資質向上のための取組み

- 1) 姫路市が開催する連絡会及び研修会への参加
  - ・主任介護支援専門員 連絡会 年間 3 回
  - ・社会福祉士 連絡会 年間 3 回
  - ・保健師等 連絡会 年間 3 回
  - ・認知症担当 連絡会 年間 3 回
  - ・世話人会
  - ・ふれあい祭り企画会議
  - ・地域包括支援センター連絡会総会及び研修会
  - ・地域包括支援センター連絡会研修会
  - ・地域包括支援センター研修会
  - ・準基幹型地域包括支援センター圏域連絡会
  - ・キャラバンメイト研修
  - ・コグニサイズリーダー養成研修
- 2) 広域的に開催される連絡会及び研修会（外部研修会等）への参加
  - ・姫路市社協ふれあいネットワーク研修会
  - ・平成 28 年度集団指導及び平成 29 年度介護報酬改定等説明会
  - ・西播磨地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会総会

3) 内部研修会の開催 年12回

## 7 災害対策に向けた地域との連携

西市民センター合同消防避難訓練 年2回

## 8 その他

- ・定例会議 毎月開催（毎月、事業計画の進捗状況の振り返り及び方針検討）
- ・苦情解決委員会 偶数月・年間6回（年間の苦情相談発生件数 0件）
- ・グループホーム・サザンツリー運営推進会議参加 奇数月
- ・小規模多機能ホームさかい運営推進会議参加 偶数月
- ・地域密着型デイ運営推進会議参加（エミオ、アシストケアクラブ青山、シャングリ  
ラ、やすらぎ、あおやま、はなのいえ）
- ・姫路市医療介護連携会議
- ・姫路赤十字看護専門学校実習生受け入れ
- ・国立姫路医療センター付属看護学校実習生受け入れ
- ・あんしんサポーター実習生受け入れ
- ・姫路市地域包括支援課による実地指導

以上

平成28年度

## 事業報告書

アットホーム林田しらさぎ

### 〈基本方針〉

地域の高齢者が集い、交流を図り、日常生活の不安解消や社会とのつながりを維持することが出来る地域福祉の拠点として介護予防を推進し、高齢者の活動の場が広がるように支援します。

### 1 地域ニーズに応じた活動

- 1) 地域のような社会資源との連携を通じて、地域ニーズの把握に努めました。
- 2) 地域における介護予防教室や介護者教室などの介護予防普及啓発機能、ふれあいサロンとして地域住民の交流促進機能、様々な相談に応じることで安心につなげる相談機能の定着が実感でき、地域住民の居場所づくりが実現しています。

### 2 介護予防について

- 1) 地域の高齢者が安心して生活が送ることが出来るように、地域の高齢者や障害者見守りと相談の場を築くことができています。
- 2) 平成29年度からの地域支援事業では、人材確保と採算性に大きな課題を残しており、安易に事業に着手するのではなく、地域性・公共性・機能性・採算性・継続性・専門性など様々な課題がクリアできる要素を獲得していくことが重要と考えています。
- 3) 認知症勉強会やミニデイサービス、ふれあいサロン、介護者の集いなどの開催拠点としては定着しつつあります。開催することによって、専門家による情報提供や閉じこもり予防、地域交流の場としての役割を果たすことが実現し、さらに機能を高めていくことが地域から求められているところだと考えます。
- 4) 気軽に足を運べる身近な相談窓口としては、広く有効に活用されるまでには至っていません。しかしながら、相談目的で訪れる地域住民もあり、主に居宅介護支援事業所やL S Aへの相談実績があがるなど存在価値も認められている。

以上

平成 28 年度 外部研修等参加記録			
開催日	研修内容	参加者	実施会場
4月 8日	地域包括支援センター事業方針説明会	大崎・青田	姫路市役所
4月 15日	地域包括支援センター連絡会・総会	施設長・大崎 青田・富田	姫路市役所
4月 19日	地域包括支援センター新任職員研修	花本	自治福社会館
4月 21日	バリアフリー2016	理事長・西上理事・施設長・春本・山本・福岡・福岡	インテックス大阪
5月 12日	制度対応セミナー・県経営協総会	理事長	県福祉センター
5月 13日	新任職員研修会	米澤	姫路商工会議所
5月 21日	3部会合同勉強会	施設長・山本	市医師会館
5月 25日	衛生講習会（食中毒予防）	國米	防災センター
5月 26日	ケアマネジメント力向上会議	福岡・松下	市医師会館
5月 26日	栄養管理研修会	村田	防災センター
6月 1日	社会福祉施設指導監査説明会	施設長・事務長	姫路市役所
6月 7日	安全運転管理者講習会	事務長	姫路市民会館
6月 15日	姫路市老人福祉施設連盟総会	施設長	自治福社会館
6月 16日	ケアマネジメント力向上会議	富永・長谷川	自治福社会館
6月 16日	算定基礎届事務説明会	事務長	市文化センター
6月 16日	姫路市老人福祉施設連盟栄養士部会総会	福岡	自治福社会館
6月 16日	サービス評価事業実施施設説明会	施設長・春本	県福祉センター
6月 16日	不在者投票事務説明会	宮崎	姫路市役所
6月 17日	兵庫県老人福祉事業協会青年部総会	施設長	県福祉センター
6月 19日	福祉の就職総合フェア	事務長	神戸国際展示場
6月 23日	社会福祉施設等新任職員研修	柴田	姫路市役所

開催日	研修内容	参加者	実施会場
6月27日	トライやる指導ボランティア会議	施設長	林田中学校
6月27日	姫路市社会福祉協議会総会	宮崎	自治福祉会館
7月6日	姫路市老人福祉施設連盟栄養士部会研修会	荒内	市総合教育センター
7月7.8日	ケアプランリーダー養成研修会	春本	県福祉センター
7月11日	認知症機能訓練基礎研修	三木	県福祉センター
7月20日	姫路市老人福祉施設連盟 研修会	施設長	姫路商工会議所
7月21日	兵庫県認定調査員研修	春本・富永・松下	労働会館
7月21日	施設整備説明会	施設長	自治福祉会館
7月22日	社会福祉法人経営者協議会例会	理事長	ANAクラウンプラザホテル
7月23日～	主任介護支援専門員更新研修	福岡	のじぎく会館他
7月25日	西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修	福岡・富永 松下・長谷川	西保健福祉サービスセンター
7月26日～	認知症介護実践者研修	中畑	西播磨総合リハビリセンター
7月28日	キャラバンメイト養成研修	岩井	姫路市民会館
7月28日	病院栄養士研究会	村田	防災センター
7月28日	地域連携交流会	富永・松下	フルーツガーデンさかい
7月28日	地域包括支援センター全体研修会	花本・竹田	自治福祉会館
7月28日	社会福祉法人制度改革説明会	事務長	姫路市民会館
7月30日	認知症予防体操リーダー養成講座	岩井	但馬長寿の郷
8月1日	地域包括ケア基礎研修	岩井	姫路市役所
8月3日	介護予防・日常生活支援総合事業説明会	施設長・大崎 青田	自治福祉会館
8月5日	会計実務担当者研修	森	県社会福祉研修所
8月5日	認知症機能訓練実践研修	三木	三ノ宮センタープラザ
8月8日	介護予防自主活動支援従事者研修会	青田・岩井	姫路市役所

開催日	研修内容	参加者	実施会場
8月22日	介護予防支援計画立案研修	大崎・岩井	姫路市役所
8月22日	姫路市老人福祉施設連盟施設長研修	施設長	ホテル日航姫路
8月30日	通所介護事業所に対する集団指導	山本	姫路市文化センター
8月31日	感染症対策研修	施設長	姫路市役所
9月8日 ～	主任介護支援専門員更新研修	富田	県福祉センター他
9月13日	新任職員ステップアップ研修	中塚	県社会福祉研修所
9月13日	社会福祉法人制度改革研修会	施設長	姫路市役所
9月16日	ケアプランリーダー養成研修	春本	県福祉センター
9月23日	姫路市老人福祉施設連盟ケアプラン研修会	加納	姫路商工会議所
9月26日	西南ブロックケアマネジメント研修	富永・松下・花本	西保健福祉サービスセンター
9月27日	地域包括支援センター連絡会総会	大崎・青田 岩井・富田	総合教育センター
9月29日	栄養管理研修会	福岡	防災センター
9月29日	感染症対策会議	小村	姫路市役所
10月6日	姫路市老人福祉施設連盟栄養士部会研修会	荒内	勤労市民会館
10月6日	認知症対策の推進における薬剤師会との情報交換会	岩井	中央保健センター
10月8日	兵庫県栄養士会 講演会・展示会	村田	姫路商工会議所
10月11日	介護予防・日常生活総合事業事務説明会	大崎・岩井	姫路市役所
10月13日	リスクマネジメント研修	満田	西播磨総合リハビリセンター
10月17日	介護予防・日常生活支援総合事業説明会	山本	姫路市役所
10月18日	高齢者虐待対応力向上研修	花本	姫路労働会館
10月18日	介護予防・日常生活支援総合事業説明会	福岡	姫路市役所
10月19日	生涯現役社会ワークショップ2016	事務長	神戸市産業復興センター

開催日	研修内容	参加者	実施会場
10月21日	兵庫県経営者協議会経営講座	理事長	県福祉センター
10月25日 ～	喀痰吸引研修	西川	県看護協会
10月26日	介護サービス事業者に対する 集団指導	施設長・春本 山本・福岡 富永・大崎	姫路文化センター
10月27日	地域包括支援センター連絡会研修会	青田	姫路市役所
10月31日	感染症対策研修	福原	姫路市役所
10月31日	ケアマネ・地域包括部会	福岡・富永	南保健センター
10月31日	ケアマネ・地域包括部会	岩井	南保健センター
11月1日	地域サポート型施設情報交流会	渡部	県福祉センター
11月9日	老人福祉施設連盟栄養士部会研修会	荒内	総合教育センター
11月11日	西南ブロックケアマネージャー 研修会	福岡・富永 松下・花本	白鳥城スワン
11月14日	兵庫県介護支援専門員実務研修 受入れ説明会	福岡	勤労会館
11月16日	看護職員研修	藤本	県社会福祉研修所
11月16日	地域包括支援センター研修会	竹田・富田	防災センター
11月17日	社会福祉大会	山本	姫路市市民会館
11月18日	新生兵庫講演会	理事長	神戸国際会館
11月21日	姫路市中小企業人材育成セミナー	渡部	キャスパホール
11月24日	ケアマネジメント力向上会議	福岡・花本	総合教育センター
11月24日	年末調整説明会	事務長	姫路文化センター
11月25日	介護人材育成確保育成研修	井貫	勤労市民会館
11月30日	介護予防ケアマネジメント費等支払い 代行業務説明会	大崎	兵庫国保連合会
12月2日	社会福祉法人制度改革説明会	事務長	姫路市民会館
12月2日	地域包括ケア講演会	富田	姫路文化センター
12月7日	社会福祉法改正に伴う定款変更手続 き説明会	施設長	姫路市役所

開催日	研修内容	参加者	実施会場
12月9日	法人経営トップセミナー	理事長	ANAクラウンプラザホテル
12月10日	社会福祉施設長資格認定講座	施設長	ロフォス湘南
12月12日	喀痰吸引研修	西川	兵庫県看護協会
12月16日	地域包括支援センター全体研修会	杉本	勤労市民会館
12月19日	介護予防・日常生活支援総合事業説明会	富永	たつの市福祉会館
1月7日	新年福祉の集い	理事長	ANAクラウンプラザホテル
1月14日 ～	介護福祉士実習指導者講習会	渡部	県福祉センター
1月16日	財務諸表等開示システムに係る試行運用について	事務長	姫路市役所
1月26日	社会福祉研修	田淵	すこやかセンター
1月26日	姫路市栄養管理研修会	荒内	防災センター
1月31日	地域包括支援センター連絡会	青田・岩井・山田	総合教育センター
2月6日	会計実務基礎講座	宮崎	社会福祉研修所
2月8日	施設長研修会	施設長	ホテルクラウンパレス神戸
2月20日	地域包括支援センター管理者等連絡会	施設長	姫路市役所
2月20日	西南ブロック包括的継続的ケアマネジメント研修	福岡・松下・長谷川	太陽公園
2月20日 ～	全国経営協 高齢者福祉事業経営セミナー	理事長	新横浜プリンスホテル
2月23日	姫路市老人福祉施設連盟栄養士部会研修会	福岡	勤労市民会館
2月24日	リスクマネジメント研修	事務長	県福祉センター
2月24日	公正採用選考人権啓発推進員研修会	施設長	キャスルグランヴィオホテル
2月27日	地域包括支援センター全体研修会	大崎・岩井	姫路市役所
3月2日	災害福祉支援体制づくりフォーラム	施設長	神戸クルスタルタワー



開催日	研修内容	参加者	実施会場
3月 8日	社会福祉研修～労働契約法～	事務長	姫路市役所
3月 9日	社会福祉研修 ～メンタルヘルス研修～	春本	姫路市役所
3月12日	医療・介護連携による終末期対応向上研修会	青田	じばさん姫路
3月14日	地域サポート型施設普及推進事業相談会	渡部	県福祉センター
3月15日	姫路市老人福祉施設連盟栄養士部会研修会	福岡・村田	竹善
3月17日	意見交流会	渡部	國富胃腸病院
3月22日	水害・土砂災害への備えに関する説明会	春本	神戸文化ホール
3月28日	包括委託契約等説明会	大崎	姫路市役所
3月29日	社会福祉法人制度改革に関する会計研修会	事務長	姫路市役所

平成 28 年度ボランティア活動実績

活動日時	活動内容	活動人数
平成 28 年 4 月 14 日	行事手伝い	3 名
4 月 14 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
4 月 15 日	デイ利用者へ手品披露	1 名
4 月 17 日	施設敷地内草刈り・清掃	30 名
4 月 20 日	デイ利用者へ手品披露	5 名
4 月 21 日	特養・デイ利用者のメガネ洗浄等	2 名
4 月 25 日	特養利用者へ歌・紙芝居の披露	2 名
4 月 26 日	特養利用者の散髪	6 名
4 月 28 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
5 月 3 日	ギター演奏の披露	2 名
5 月 10 日	デイ利用者へ手品披露	1 名
5 月 12 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
5 月 13 日	デイ利用者へ大正琴披露	5 名
5 月 19 日	特養・デイ利用者のメガネ洗浄等	2 名
5 月 26 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
5 月 30 日	特養利用者へ歌・紙芝居の披露	2 名
6 月 7 日	デイ利用者へ歌披露	2 名
6 月 8 日	デイ利用者へ手品披露	1 名
6 月 13 日	特養利用者の散髪	4 名
6 月 14 日	デイ利用者へ大正琴披露	5 名
6 月 16 日	行事手伝い	3 名
6 月 16 日	特養・デイ利用者のメガネ洗浄等	2 名
6 月 16 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
6 月 23 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
6 月 23 日	特養利用者へ歌・紙芝居の披露	2 名
6 月 30 日	デイ利用者へ手品披露	5 名
7 月 5 日	デイ利用者へ大正琴披露	5 名
7 月 14 日	デイ利用者へ習字指導	1 名
7 月 17 日	行事手伝い	5 名
7 月 17 日	施設敷地内草刈り・清掃	30 名
7 月 17 日	行事手伝い	2 名

活動日時	活動内容	活動人数
7月17日	行事手伝い	4名
7月17日	行事手伝い	6名
7月17日	行事手伝い	8名
7月17日	行事手伝い	7名
7月19日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
7月21日	特養・デイ利用者のメガネ洗浄等	2名
7月23日	デイ利用者へ手品披露	1名
7月25日	特養利用者へ歌・紙芝居の披露	2名
7月28日	デイ利用者へ習字指導	1名
8月4日	デイ利用者へ習字指導	1名
8月5日	行事手伝い	3名
8月8日	特養利用者の散髪	6名
8月10日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
8月18日	特養・デイ利用者のメガネ洗浄等	2名
8月18日	デイ利用者へ手品披露	1名
8月18日	デイ利用者へ習字指導	1名
8月26日	デイ利用者へ手品披露	5名
9月8日	デイ利用者へ習字指導	1名
9月8日	デイ利用者へ踊り披露	8名
9月15日	特養・デイ利用者のメガネ洗浄等	2名
9月20日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
9月21日	デイ利用者へ手品披露	1名
9月22日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
9月26日	特養利用者へ歌・紙芝居の披露	2名
9月28日	デイ利用者へ手品披露	5名
9月29日	デイ利用者へ習字指導	1名
9月29日	特養利用者へ俳句指導	2名
10月3日	特養利用者の散髪	4名
10月14日	デイ利用者へ習字指導	1名
10月20日	特養・デイ利用者のメガネ洗浄等	2名
10月24日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
10月24日	特養利用者へ歌・紙芝居の披露	2名
10月25日	デイ利用者へ手品披露	1名

活動日時	活動内容	活動人数
10月27日	デイ利用者へ習字指導	1名
10月28日	デイ利用者へ手品披露	5名
11月6日	デイ利用者との交流	5名
11月10日	デイ利用者へ習字指導	1名
11月14日	デイ利用者へ手品披露	1名
11月16日	デイ利用者へ踊り披露	8名
11月17日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
11月22日	デイ利用者との交流	1名
11月24日	特養・デイ利用者のメガネ洗浄等	2名
11月24日	デイ利用者へ習字指導	1名
11月28日	特養利用者へ歌・紙芝居の披露	2名
12月2日	行事手伝い	4名
12月6日	デイ利用者へ朗読披露	2名
12月8日	デイ利用者へ手品披露	1名
12月8日	デイ利用者へ習字指導	1名
12月16日	デイ利用者へ手品披露	5名
12月19日	特養利用者の散髪	8名
12月19日	デイ利用者へ民謡披露	10名
12月21日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
12月22日	デイ利用者へ習字指導	1名
12月22日	デイ利用者との交流	3名
12月23日	デイ利用者へ踊り披露	5名
12月27日	デイ利用者との交流	1名
平成29年 1月12日	特養・デイ利用者のメガネ洗浄等	2名
1月12日	デイ利用者へ習字指導	1名
1月16日	デイ利用者へ手品披露	1名
1月20日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
1月26日	デイ利用者へ習字指導	1名
1月28日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
2月6日	デイ利用者へ手品披露	5名
2月9日	特養・デイ利用者のメガネ洗浄等	2名
2月9日	デイ利用者へ習字指導	1名
2月14日	デイ利用者へ手品披露	1名
2月16日	デイ利用者へ大正琴披露	5名

活動日時	活動内容	活動人数
2月16日	デイ利用者へ踊り披露	8名
2月23日	デイ利用者へ習字指導	1名
2月24日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
3月2日	デイ利用者へ歌・ギター演奏披露	2名
3月7日	デイ利用者へ手品披露	1名
3月9日	デイ利用者へ習字指導	1名
3月14日	デイ利用者へ大正琴披露	5名
3月15日	デイ利用者へ和太鼓披露	2名
3月16日	特養・デイ利用者のメガネ洗浄等	2名
3月16日	デイ利用者へ踊り披露	10名
3月20日	デイ利用者へ踊り披露	5名
3月23日	デイ利用者へ習字指導	1名
3月24日	デイ利用者へ大正琴披露	5名

参加ボランティア：団体（23団体） 個人（4人）

延 活動回数：111回

延 活動人数：396人

以上